

# YMアセット・ オーストラリア 好配当資産ファンド

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信/海外/資産複合
信託期間	2017年9月15日から、2027年9月20日までです。
運用方針	信託財産の成長をめざして運用を行ないます。
主要投資対象	イ) オーストラリア・リアルアセット・ファンド (適格機関投資家専用) の受益証券 ロ) ダイワ・マネーポートフォリオ (FOFs用) (適格機関投資家専用) の受益証券
運用方法	①主として、オーストラリア・リアルアセット・ファンド (適格機関投資家専用) の受益証券を通じて、オーストラリアのリアルアセット関連有価証券に投資することにより、信託財産の成長をめざします。 なお、リアルアセット関連有価証券とは、以下の有価証券をいいます。 イ) リート ロ) 上場インフラファンド ハ) リアルアセットを保有または運営する企業の株式 ※1 「リアルアセット」とは、使用料や賃料等のキャッシュフローを生み出すインフラ関連施設や不動産等の実物資産をさします。 ※2 ニュージーランドのリアルアセット関連有価証券にも投資することがあります。 ②オーストラリア・リアルアセット・ファンド (適格機関投資家専用) では、配当の成長性および継続性、利益成長性、収益基盤の安定性等に着目し投資を行ないます。 ③オーストラリア・リアルアセット・ファンド (適格機関投資家専用) では、原則として、為替リスクを回避するための為替ヘッジを行ないません。 ④この投資信託は、オーストラリア・リアルアセット・ファンド (適格機関投資家専用) とダイワ・マネーポートフォリオ (FOFs用) (適格機関投資家専用) に投資するファンド・オブ・ファンズです。通常の状態では、オーストラリア・リアルアセット・ファンド (適格機関投資家専用) への投資割合を高位に維持することを基本とします。
組入制限	投資信託証券への投資割合には、制限を設けません。
分配方針	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益 (評価益を含みます。) などとし、原則として、継続した分配を行なうことを目標に分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行なわないことがあります。

## 運用報告書 (全体版)

第20期 (決算日 2022年9月20日)

第21期 (決算日 2022年12月20日)

### 受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

さて、「YMアセット・オーストラリア好配当資産ファンド 愛称：トリプル維新 (リアルオージー)」は、このたび、第21期の決算を行ないました。

ここに、第20期、第21期中の運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。



Yamaguchi  
Financial Group

ワイエムアセットマネジメント

山口県下関市竹崎町四丁目2番36号

お問い合わせ先 083-223-7124

(営業日の9:00~17:00)

ホームページ <http://www.ymam.co.jp/>

## 最近10期の運用実績

決算期	基準価額			S&P/A S X 200指数 (配当込み、円換算ベース)		S&PオーストラリアREIT指数 (配当込み、円換算ベース)		投資信託 受益証券 組入比率	純資産 総額
	(分配落)	税込 分配金	期中 騰落率	(参考指数)	期中 騰落率	(参考指数)	期中 騰落率		
	円	円	%		%		%	%	百万円
第12期末(2020年9月23日)	9,632	60	7.3	10,018	5.0	10,316	9.8	99.0	1,938
第13期末(2020年12月21日)	10,878	60	13.6	11,820	18.0	11,838	14.7	99.0	2,122
第14期末(2021年3月22日)	10,911	60	0.9	12,834	8.6	12,131	2.5	99.0	2,136
第15期末(2021年6月21日)	11,868	60	9.3	13,872	8.1	13,485	11.2	99.0	2,151
第16期末(2021年9月21日)	12,289	60	4.1	13,721	△ 1.1	14,219	5.4	99.1	2,159
第17期末(2021年12月20日)	12,910	60	5.5	13,764	0.3	15,288	7.5	99.0	2,151
第18期末(2022年3月22日)	13,105	60	2.0	14,898	8.2	15,315	0.2	99.1	2,133
第19期末(2022年6月20日)	12,028	60	△ 7.8	14,522	△ 2.5	13,281	△ 13.3	99.0	2,006
第20期末(2022年9月20日)	12,699	60	6.1	15,772	8.6	14,421	8.6	99.0	2,304
第21期末(2022年12月20日)	12,401	60	△ 1.9	15,755	△ 0.1	14,200	△ 1.5	99.0	2,336

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) S & P / A S X 200指数 (配当込み、円換算ベース) は S & P / A S X 200指数 (配当込み、オーストラリア・ドルベース) をもとに、S & P オーストラリア R E I T 指数 (配当込み、円換算ベース) は S & P オーストラリア R E I T 指数 (配当込み、オーストラリア・ドルベース) をもとにワイエムアセットマネジメントが円換算し、当ファンド設定日を10,000として計算したものです。S & P / A S X 200指数 (配当込み、オーストラリア・ドルベース) および S & P オーストラリア R E I T 指数 (配当込み、オーストラリア・ドルベース) の所有権およびその他一切の権利は、S&P Dow Jones Indices LLCが有しています。S&P Dow Jones Indices LLCは同指数の算出にかかる誤謬等に関し、いかなる者に対しても責任を負うものではありません。

(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前々営業日の終値を採用しています。

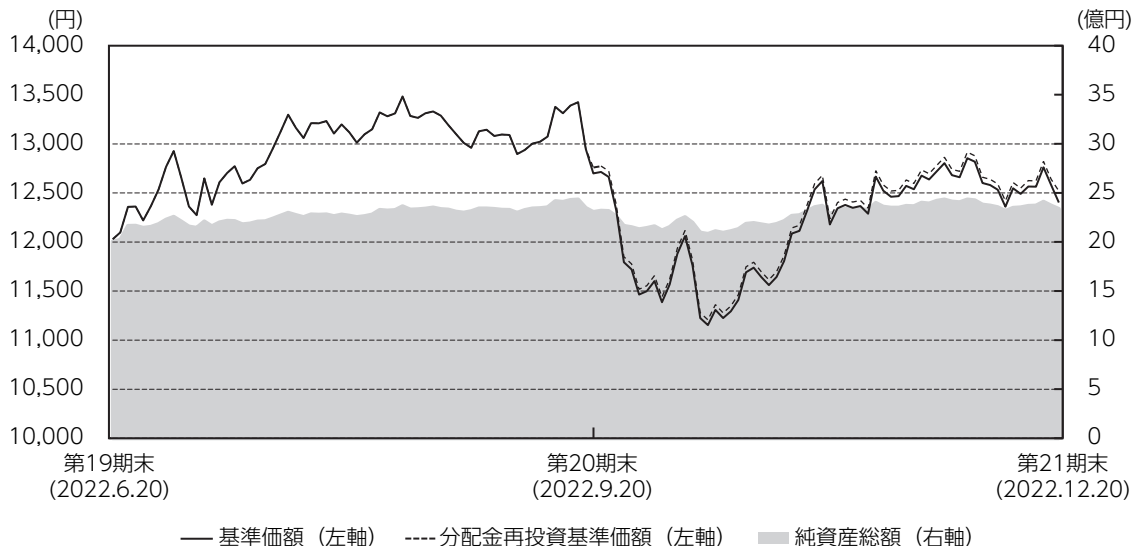
## 当作成期中の基準価額と市況の推移

決算期	年 月 日	基 準 価 額		S & P / A S X 200指数 (配当込み、円換算ベース)		S & PオーストラリアREIT指数 (配当込み、円換算ベース)		投資信託 受益証券 組入比率
		円	騰落率	(参考指数)	騰落率	(参考指数)	騰落率	
第20期	(期 首) 2022年 6 月20日	円	%					
	6 月末	12,028	－	14,522	－	13,281	－	99.0
	7 月末	12,926	7.5	14,973	3.1	14,475	9.0	99.1
	8 月末	13,231	10.0	15,332	5.6	15,038	13.2	99.0
	(期 末) 2022年 9 月20日	13,080	8.7	15,785	8.7	15,010	13.0	99.0
第21期	(期 首) 2022年 9 月20日	12,759	6.1	15,772	8.6	14,421	8.6	99.0
	9 月末	12,699	－	15,772	－	14,421	－	99.0
	10 月末	11,499	△ 9.4	14,549	△ 7.8	12,699	△ 11.9	99.0
	11 月末	12,113	△ 4.6	15,561	△ 1.3	13,799	△ 4.3	99.0
	(期 末) 2022年 12 月20日	12,680	△ 0.1	16,131	2.3	14,566	1.0	99.0
		12,461	△ 1.9	15,755	△ 0.1	14,200	△ 1.5	99.0

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

## 運用経過

## 基準価額等の推移について



(注1) 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各個人のお客様の損益の状況を示すものではありません。

## ■基準価額・騰落率

第20期首：12,028円

第21期末：12,401円 (既払分配金120円)

騰落率：4.1% (分配金再投資ベース)

## 基準価額の主な変動要因

オーストラリアのリートやインフラ（社会基盤）関連銘柄が上昇したことがプラスに働き、基準価額は上昇しました。金利上昇に一服感が見られたことなどを背景に、当ファンドの主要投資対象であるリートやインフラ関連銘柄は堅調な推移となりました。一方、為替については、オーストラリア・ドルが対円で下落（円高）したことが、基準価額にマイナスに働きました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

## 投資環境について

### ○オーストラリア・リアルアセット（※）市況

当作成期首から2022年8月にかけては、景気先行きへの懸念やコモディティ価格の下落を背景とした長期金利の低下などを受けて、上昇傾向となりました。9月は、市場予想を上回る8月の米国消費者物価指数の発表を受けて、さらなる金融引き締め政策への懸念が高まり、下落傾向となりました。10月から当作成期末にかけては、10月後半以降、長期金利が低下傾向になるなど、これまでの金利上昇に衣服感が見られたことなどを背景に、上昇傾向となりました。

※リアルアセットはリート、上場インフラファンド、株式を含みます。

### ○為替市況

当作成期首から2022年10月にかけては、日本とオーストラリアの金利差の拡大や世界経済の先行きへの懸念などから上下する局面もありましたが、オーストラリア・ドルは対円でおおむね横ばいでの推移となりました。11月から当作成期末にかけては、インフレ率の減速期待などから米国金利が低下したことで日米金利差の縮小が意識され、円高米ドル安が進み、オーストラリア・ドルも対円で下落傾向となりました。

## ポートフォリオについて

### ○当ファンド

当ファンドは、オーストラリア・リアル・アセットファンド（適格機関投資家専用）とダイワ・マネーポートフォリオ（FOF s用）（適格機関投資家専用）に投資するファンド・オブ・ファンズです。期を通して、オーストラリア・リアル・アセットファンド（適格機関投資家専用）の受益証券を高位に組み入れました。

### ○オーストラリア・リアルアセット・ファンド（適格機関投資家専用）

オーストラリアだけでなく、世界中で物流施設を開発・運営するGOODMAN GROUP（不動産）、オーストラリアの主要都市に優れた高速道路ネットワークを持ち、継続的な事業成長が期待できる高速道路運営会社TRANSURBAN GROUP（資本財・サービス）、ガス産出地と主要都市を結ぶガスパイプラインなどを運営するAPA GROUP（公益事業）、傘下に上場リートや非上場の不動産ファンドを持つ大手複合リーートのCHARTER HALL GROUP（不動産）などを高位に組み入れました。

### ○ダイワ・マネーポートフォリオ（FOF s用）（適格機関投資家専用）

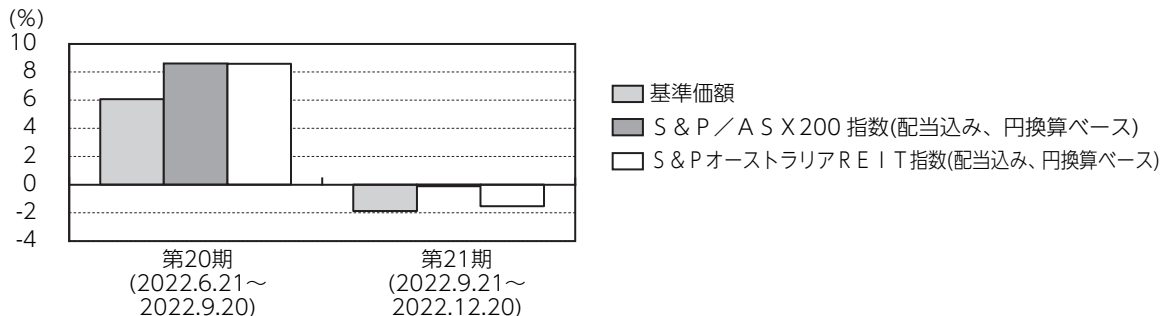
流動性や資産の安全性に配慮し、コール・ローン等による運用を行ないました。

## ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数（S & P / A S X 200指数（配当込み、円換算ベース）およびS & PオーストラリアREIT指数（配当込み、円換算ベース））との騰落率の対比です。

参考指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前々営業日の終値を採用しています。



(注) 騰落率は分配金再投資基準価額の騰落率を表示しています。

## 分配金について

1万口当り分配金（税込み）は第20期は60円、第21期は60円といたしました。収益分配金の決定根拠は下記の「収益分配金の計算過程（1万口当り）」をご参照ください。なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

### ■分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	第20期	第21期
	2022年6月21日 ~2022年9月20日	2022年9月21日 ~2022年12月20日
当期分配金（税込み）（円）	60	60
対基準価額比率（%）	0.47	0.48
当期の収益（円）	60	60
当期の収益以外（円）	-	-
翌期繰越分配対象額（円）	3,940	3,984

(注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

(注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

(注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

### ■収益分配金の計算過程（1万口当り）

項 目	第20期	第21期
(a) 経費控除後の配当等収益	293.72円	99.51円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0.00	0.00
(c) 収益調整金	1,272.09	1,505.90
(d) 分配準備積立金	2,435.14	2,438.64
(e) 当期分配対象額(a + b + c + d)	4,000.95	4,044.05
(f) 分配金	60.00	60.00
(g) 翌期繰越分配対象額(e - f)	3,940.95	3,984.05

(注) 下線を付した該当項目から分配金を計上しています。

## 今後の運用方針

### ○当ファンド

オーストラリア・リアル・アセットファンド（適格機関投資家専用）の受益証券の組入比率を、通常の状態でも高位に維持することを基本とします。

### ○オーストラリア・リアルアセット・ファンド（適格機関投資家専用）

当ファンドでは、高速道路・空港などのインフラ（社会基盤）関連施設や、オフィス・ショッピングモールなどの不動産を保有し、安定的なキャッシュフローを生み出すことができる企業に注目しています。また長期的な配当成長の源泉となる、高い開発・運営能力や強固な事業基盤を持つ企業に着目します。

### ○ダイワ・マネーポートフォリオ（FOFs用）（適格機関投資家専用）

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行なう方針です。そのため、マイナス利回りの短期の国債やコール・ローン等にも投資することがあります。

## 1 万口当りの費用の明細

項 目	第20期～第21期		項 目 の 概 要
	(2022年6月21日～2022年12月20日)		
	金 額	比 率	
信託報酬	61円	0.482%	信託報酬＝各期中の平均基準価額×信託報酬率（年率）×各期の日数／年間の日数 <b>期中の平均基準価額は12,568円です。</b>
（投信会社）	(24)	(0.193)	ファンドの運用の対価
（販売会社）	(35)	(0.276)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価
（受託会社）	(2)	(0.014)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行等の対価
売買委託手数料	－	－	売買委託手数料＝各期中の売買委託手数料／各期中の平均受益権口数 有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有価証券取引税	－	－	有価証券取引税＝各期中の有価証券取引税／各期中の平均受益権口数 有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
その他費用	1	0.005	その他費用＝各期中のその他費用／各期中の平均受益権口数
（監査費用）	(1)	(0.005)	監査法人に支払うファンドの監査にかかる費用
合 計	61	0.488	

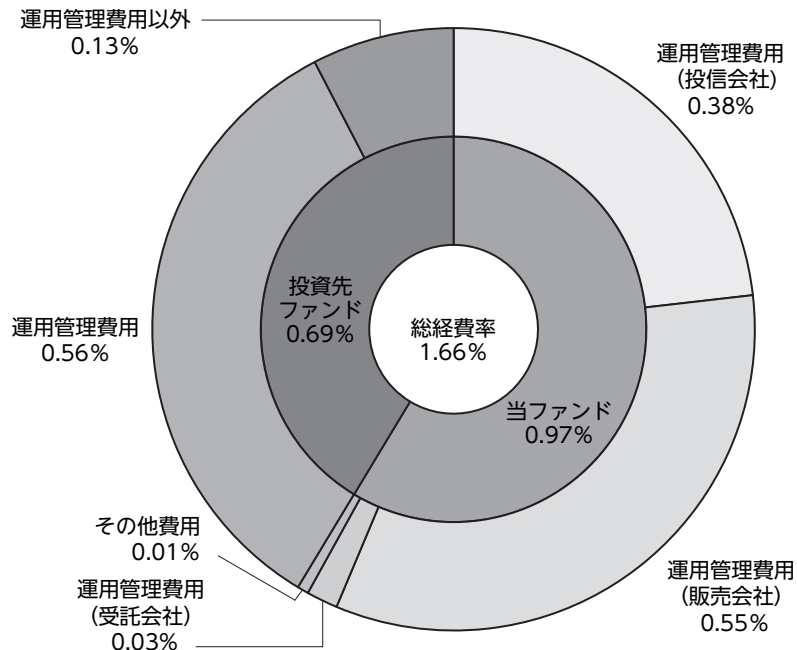
- (注1) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。
- (注2) 各項目の費用は、このファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。
- (注3) 金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。
- (注4) 比率欄は1万口当りのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。



## 参考情報

## ■総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.66%です。



総経費率 (①+②+③)	1.66%
①当ファンドの費用の比率	0.97%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.56%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.13%

(注1) ①の費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

(注4) 投資先ファンドとは、当ファンドが組入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

(注5) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注6) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注7) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

■売買および取引の状況  
投資信託受益証券

(2022年6月21日から2022年12月20日まで)

決算期		第20期～第21期			
		買付		売付	
		口数	金額	口数	金額
国	千口	千円	千口	千円	
	オーストラリア・リアルアセット・ファンド (適格機関投資家専用)	436,996.777	498,000	161,058.649	184,000
内	ダイワ・マネーポートフォリオ (FOFs用) (適格機関投資家専用)	-	-	-	-

(注1) 金額は受渡し代金。  
(注2) 金額の単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況

当期中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表  
国内投資信託受益証券

銘柄	第21期末		
	口数	評価額	比率
	千口	千円	%
オーストラリア・リアルアセット・ファンド (適格機関投資家専用)	2,080,489.033	2,312,671	
ダイワ・マネーポートフォリオ (FOFs用) (適格機関投資家専用)	1,103.11	1,095	
合計	金額 2,081,592.143 銘柄数 <比率> 2銘柄	2,313,766	<99.0%>

(注1) 合計欄の<>内は、純資産総額に対する評価額の比率。  
(注2) 評価額の単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2022年12月20日現在

項目	第21期末	
	評価額	比率
	千円	%
投資信託受益証券	2,313,766	98.1
コール・ローン等、その他	45,104	1.9
投資信託財産総額	2,358,871	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2022年9月20日)、(2022年12月20日)現在

項目	第20期末	第21期末
(A) 資産	2,321,736,544円	2,358,871,614円
コール・ローン等	30,043,309	28,104,617
投資信託受益証券(評価額)	2,280,693,235	2,313,766,997
未収入金	11,000,000	17,000,000
(B) 負債	16,935,361	21,895,300
未払収益分配金	10,889,496	11,306,741
未払解約金	467,819	5,032,259
未払信託報酬	5,515,059	5,493,567
その他未払費用	62,987	62,733
(C) 純資産総額(A-B)	2,304,801,183	2,336,976,314
元本	1,814,916,052	1,884,456,835
次期繰越損益金	489,885,131	452,519,479
(D) 受益権総口数	1,814,916,052口	1,884,456,835口
1万口当り基準価額(C/D)	12,699円	12,401円

(注) 元本状況  
期首元本額 1,667,931,691円 1,814,916,052円  
追加設定元本額 224,767,342円 168,514,424円  
一部解約元本額 77,782,981円 98,973,641円

■損益の状況

第20期 自 2022年6月21日 至 2022年9月20日

第21期 自 2022年9月21日 至 2022年12月20日

項目	第20期	第21期
(A) 配当等収益	55,837,541円	24,307,113円
受取配当金	55,841,490	24,311,147
受取利息	22	32
支払利息	△ 3,971	△ 4,066
(B) 有価証券売買損益	67,230,918	△ 55,968,866
売買益	72,713,271	2,981,739
売買損	△ 5,482,353	△ 58,950,605
(C) 信託報酬等	△ 5,578,046	△ 5,556,300
(D) 当期損益金(A+B+C)	117,490,413	△ 37,218,053
(E) 前期繰越損益金	224,104,110	313,756,687
(F) 追加信託差損益金 (配当等相当額)	159,180,104	187,287,586
(売買損益相当額)	( 230,874,143)	( 283,780,823)
(G) 合計(D+E+F)	500,774,627	463,826,220
(H) 収益分配金	△ 10,889,496	△ 11,306,741
次期繰越損益金(G+H)	489,885,131	452,519,479
追加信託差損益金 (配当等相当額)	159,180,104	187,287,586
(売買損益相当額)	( 230,874,143)	( 283,780,823)
分配準備積立金	484,375,063	466,995,343
繰越損益金	△ 153,670,036	△ 201,763,450

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。  
(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。  
(注3) 収益分配金の計算過程は「収益分配金の計算過程(総額)」の表をご参照ください。

## ■収益分配金の計算過程（総額）

項 目	第 20 期	第 21 期
(a) 経費控除後の配当等収益	53,306,782円	18,750,813円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0円	0円
(c) 収益調整金	230,874,143円	283,780,823円
(d) 分配準備積立金	441,957,777円	459,551,271円
(e) 当期分配対象額(a + b + c + d)	726,138,702円	762,082,907円
(f) 1万口当り当期分配対象額	4,000.95円	4,044.05円
(g) 分配金	10,889,496円	11,306,741円
(h) 1万口当り分配金	60円	60円

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ		
	第 20 期	第 21 期
1万口当り分配金（税引前）	60円	60円

## &lt;課税上の取り扱いについて&gt;

- ・分配金は、分配後の基準価額と個々の受益者の個別元本との差により、「普通分配金」と「元本払戻金（特別分配金）」に分かれます。分配後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合は、全額が普通分配金となり、分配後の基準価額が個別元本を下回る場合は、下回る部分が元本払戻金（特別分配金）、残りの部分が普通分配金となります。
- ・受益者は普通分配金に対し課税されます。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合、個別元本から元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の新しい個別元本となります。

当ファンドは少額投資非課税制度「NISA（ニーサ）」および未成年者少額投資非課税制度「ジュニアNISA」の適用対象です。非課税口座における取扱いについては販売会社にお問い合わせください。

## お知らせ

○該当事項はありません。

# オーストラリア・リアルアセット・ファンド (適格機関投資家専用)

## 運用報告書 (全体版)

第20期 (決算日 2022年8月15日)

第21期 (決算日 2022年11月15日)

(作成対象期間 2022年5月17日~2022年11月15日)

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／資産複合	
信託期間	無期限 (設定日：2017年8月3日)	
運用方針	信託財産の成長をめざして運用を行ないます。	
主要投資対象	ベビーファンド	オーストラリア・リアルアセット・マザーファンドの受益証券
	オーストラリア・リアルアセット・マザーファンド	イ. オーストラリアおよびニュージーランドの金融商品取引所上場または店頭登録の投資信託証券 ロ. オーストラリアおよびニュージーランドの金融商品取引所上場 (上場予定を含みます。) または店頭登録 (登録予定を含みます。) の株式 (DR (預託証券) を含みます。) ハ. オーストラリアおよびニュージーランドの企業のDR
組入制限	ベビーファンドのマザーファンド組入上限比率	無制限
	マザーファンドの株式組入上限比率	
分配方針	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益 (評価益を含みます。) 等とし、原則として、配当等収益等を全額分配し、売買益等は基準価額の水準等を勘案して分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行わないことがあります。	

### 受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、オーストラリアのリアルアセット関連有価証券に投資することにより、信託財産の成長をめざしております。当作成期につきましてもそれに沿った運用を行ないました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

## 大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社  
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号  
お問い合わせ先 (コールセンター)  
TEL 0120-106212  
(営業日の9:00~17:00)  
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

## 最近10期の運用実績

決算期	基準価額			S&P/A S X 200指数 (配当込み、円換算)		S&PオーストラリアREIT 指数 (配当込み、円換算)		株式 組入比率	株式 先物比率	投資信託 証券 組入比率	純資産 総額
	(分配落)	税込み 分配金	期 騰落率	(参考指数)	期 騰落率	(参考指数)	期 騰落率				
	円	円	%		%		%	%	%	%	百万円
12期末 (2020年 8月17日)	9,023	70	20.6	10,494	27.1	10,158	26.8	18.0	—	80.3	1,804
13期末 (2020年11月16日)	10,223	100	14.4	11,054	5.3	11,555	13.8	19.9	—	79.3	2,044
14期末 (2021年 2月15日)	10,358	230	3.6	12,590	13.9	12,095	4.7	17.8	—	81.0	1,990
15期末 (2021年 5月17日)	10,783	500	8.9	13,703	8.8	13,304	10.0	18.4	—	80.7	2,156
16期末 (2021年 8月16日)	11,053	90	3.3	14,178	3.5	13,976	5.0	18.2	—	80.3	2,078
17期末 (2021年11月15日)	11,828	110	8.0	14,583	2.9	15,256	9.2	17.0	—	82.4	2,102
18期末 (2022年 2月15日)	11,204	90	△ 4.5	14,022	△ 3.8	14,476	△ 5.1	15.4	—	81.1	1,918
19期末 (2022年 5月16日)	11,435	310	4.8	15,231	8.6	14,823	2.4	16.9	—	80.3	2,030
20期末 (2022年 8月15日)	11,891	300	6.6	16,004	5.1	15,539	4.8	18.7	—	79.8	2,248
21期末 (2022年11月15日)	11,161	120	△ 5.1	16,450	2.8	14,807	△ 4.7	15.1	—	81.8	2,322

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) S & P / A S X 200指数 (配当込み、円換算) は、S & P / A S X 200指数 (配当込み、オーストラリア・ドルベース) をもとに円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和アセットマネジメントが計算したものです。

(注3) S & P オーストラリアREIT指数 (配当込み、円換算) は、S & P オーストラリアREIT指数 (配当込み、オーストラリア・ドルベース) をもとに円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和アセットマネジメントが計算したものです。

(注4) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注5) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は最近で知り得るデータを使用しております。

(注6) 組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

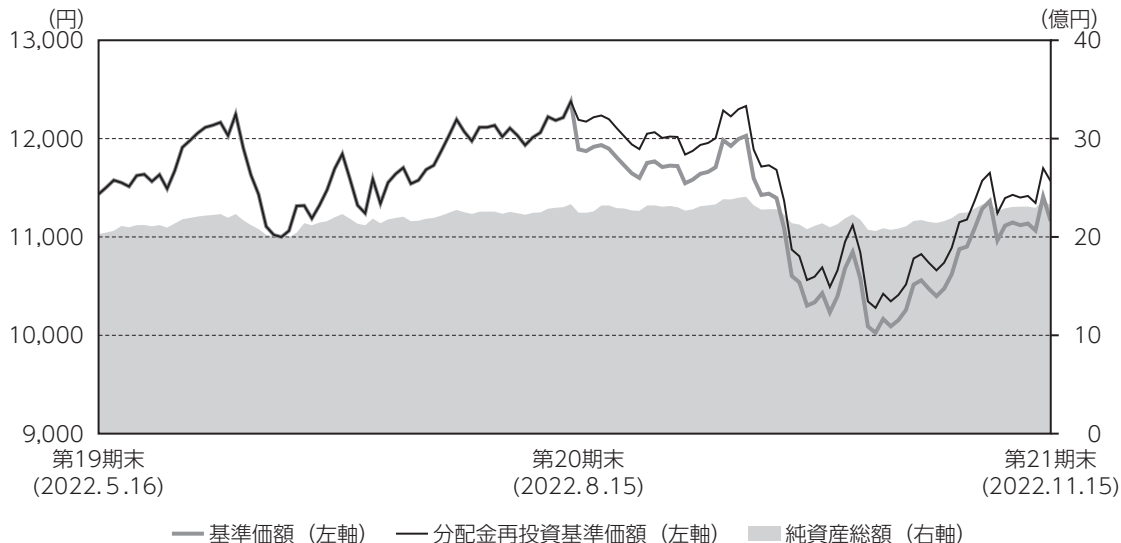
(注7) 株式先物比率は買建比率－売建比率です。

S & P / A S X 200指数およびS & P オーストラリアREIT指数はS&P Dow Jones Indices LLCまたはその関連会社（「S P D J I」）の商品であり、これの使用ライセンスが大和アセットマネジメント株式会社に付与されています。S & P<sup>®</sup>、S&P 500<sup>®</sup>、US 500、The 500、iBoxx<sup>®</sup>、iTraxx<sup>®</sup>およびCDX<sup>®</sup>は、S&P Global, Inc.またはその関連会社（「S & P」）の商標です。Dow Jones<sup>®</sup>は、Dow Jones Trademark Holdings LLC（「Dow Jones」）の登録商標です。これらの商標の使用ライセンスはS P D J Iに付与されており、大和アセットマネジメント株式会社により一定の目的でサブライセンスされています。オーストラリア・リアルアセット・ファンド（適格機関投資家専用）は、S P D J I、Dow Jones、S & P、またはそれらの各関連会社によって後援、推奨、販売、または販売促進されているものではなく、これらのいずれの関係者も、かかる商品への投資の妥当性に関するいかなる表明も行わず、S & P / A S X 200指数およびS & P オーストラリアREIT指数のいかなる過誤、遺漏、または中絶に対しては一切責任を負いません。



## 運用経過

### 基準価額等の推移について



(注) 分配金再投資基準価額は、当作成期首の基準価額をもとに指数化したものです。

- \* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものではありません。
- \* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

### ■ 基準価額・騰落率

第20期首：11,435円

第21期末：11,161円（既払分配金420円）

騰落率：1.1%（分配金再投資ベース）

### ■ 基準価額の主な変動要因

金利上昇などを背景に、当ファンドの主要投資対象であるオーストラリアのリートやインフラ（社会基盤）関連銘柄が下落したことがマイナスに働きましたが、為替相場において、オーストラリア・ドルが対円で上昇（円安）したことがプラスに働き、基準価額は上昇しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

オーストラリア・リアルアセット・ファンド (適格機関投資家専用)

	年 月 日	基 準 価 額		S & P / A S X 200指数 (配当込み、円換算)		S&PオーストラリアREIT指数 (配当込み、円換算)		株 組 入 比 率	株 先 物 比 率	投 資 信 託 証 組 入 比 率
		騰 落 率	騰 落 率	騰 落 率	騰 落 率	騰 落 率	騰 落 率			
第20期	(期首)2022年 5月16日	円 11,435	% -	15,231	% -	14,823	% -	% 16.9	% -	% 80.3
	5月末	11,911	4.2	16,053	5.4	15,476	4.4	16.4	-	80.2
	6月末	11,589	1.3	15,099	△0.9	14,499	△ 2.2	17.8	-	79.0
	7月末	12,019	5.1	15,577	2.3	15,424	4.1	17.8	-	80.7
	(期末)2022年 8月15日	12,191	6.6	16,004	5.1	15,539	4.8	18.7	-	79.8
第21期	(期首)2022年 8月15日	11,891	-	16,004	-	15,539	-	18.7	-	79.8
	8月末	11,725	△ 1.4	16,055	0.3	15,489	△ 0.3	17.9	-	77.6
	9月末	10,428	△12.3	15,087	△5.7	13,298	△14.4	16.9	-	76.9
	10月末	11,086	△ 6.8	15,769	△1.5	14,417	△ 7.2	15.4	-	80.1
	(期末)2022年11月15日	11,281	△ 5.1	16,450	2.8	14,807	△ 4.7	15.1	-	81.8

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

## 投資環境について

(2022.5.17~2022.11.15)

### ■ オーストラリア・リアルアセット（※）市況

オーストラリアのリートやインフラ（社会基盤）関連銘柄は下落しました。

当作成期首から2022年6月半ばにかけてのオーストラリア・リアルアセット市況は、金利上昇や中央銀行の金融引き締め姿勢などから、下落しました。6月半ばから8月にかけては、景気先行きへの懸念やコモディティ価格の下落を背景とした長期金利の低下などを受けて、上昇傾向となりました。9月は、市場予想を上回る8月の米国CPI（消費者物価指数）の発表を受けて、さらなる金融引き締め政策への懸念が高まり、下落傾向となりました。10月から当作成期末にかけては、10月後半以降、長期金利が低下傾向になるなど、これまでの金利上昇に不服感が見られたことなどを背景に、上昇傾向となりました。

※リアルアセットはリート、上場インフラファンド、株式を含みます。

### ■ 為替相場

オーストラリア・ドルは対円で上昇しました。

当作成期首から2022年6月上旬にかけては、日米金利差に再度注目が集まり、円は主要通貨に対して下落し、オーストラリア・ドルは対円で上昇しました。その後、当作成期末にかけては、金利差の拡大や世界経済の先行きへの懸念などから上下する局面もありましたが、オーストラリア・ドルは対円でおおむね横ばいでの推移となりました。

## 前作成期末における「今後の運用方針」

### ■ 当ファンド

「オーストラリア・リアルアセット・マザーファンド」の受益証券へ投資を行います。

### ■ オーストラリア・リアルアセット・マザーファンド

当ファンドでは、高速道路・空港などのインフラ（社会基盤）関連施設や、オフィス・ショッピングモールなどの不動産を保有し、安定的なキャッシュフローを生み出すことができる企業に注目しています。また長期的な配当成長の源泉となる、高い開発・運営能力や強固な事業基盤を持つ企業に着目します。



## ポートフォリオについて

(2022.5.17~2022.11.15)

## ■当ファンド

「オーストラリア・リアルアセット・マザーファンド」の受益証券へ投資を行いました。

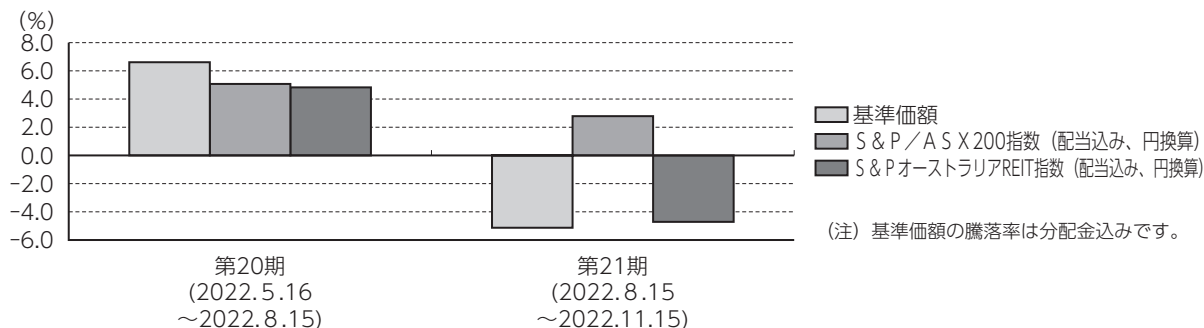
## ■オーストラリア・リアルアセット・マザーファンド

オーストラリアだけでなく、世界中で物流施設を開発・運営するGOODMAN GROUP（不動産）、オーストラリアの主要都市に優れた高速道路ネットワークを持ち、継続的な事業成長が期待できる高速道路運営会社TRANSURBAN GROUP（資本財・サービス）、ガス産出地と主要都市を結ぶガスパイプラインなどを運営するAPA GROUP（公益事業）、傘下に上場リートや非上場の不動産ファンドを持つ大手複合リートのCHARTER HALL GROUP（不動産）などを高位に組み入れました。

## ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。



## 分配金について

当作成期の1万口当り分配金（税込み）は下記「分配金資の内訳（1万口当り）」の「当期分配金（税込み）」欄をご参照ください。

収益分配金の決定根拠は下記「収益分配金の計算過程（1万口当り）」をご参照ください。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

### ■分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	第20期	第21期
	2022年5月17日 ～2022年8月15日	2022年8月16日 ～2022年11月15日
<b>当期分配金（税込み）（円）</b>	<b>300</b>	<b>120</b>
対基準価額比率（％）	2.46	1.06
当期の収益（円）	295	118
当期の収益以外（円）	5	2
翌期繰越分配対象額（円）	1,998	2,003

(注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

(注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

(注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

### ■収益分配金の計算過程（1万口当り）

項 目	第20期	第21期
(a) 経費控除後の配当等収益	✓ 102.91円	✓ 118.94円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	✓ 433.49	0.00
(c) 収益調整金	588.64	755.38
(d) 分配準備積立金	✓ 1,173.39	✓ 1,249.24
(e) 当期分配対象額(a + b + c + d)	2,298.45	2,123.57
(f) 分配金	300.00	120.00
(g) 翌期繰越分配対象額(e - f)	1,998.45	2,003.57

(注) ✓を付した該当項目から分配金を計上しています。



## 今後の運用方針

### ■当ファンド

「オーストラリア・リアルアセット・マザーファンド」の受益証券へ投資を行います。

### ■オーストラリア・リアルアセット・マザーファンド

当ファンドでは、高速道路・空港などのインフラ（社会基盤）関連施設や、オフィス・ショッピングモールなどの不動産を保有し、安定的なキャッシュフローを生み出すことができる企業に注目しています。また長期的な配当成長の源泉となる、高い開発・運営能力や強固な事業基盤を持つ企業に着目します。

## 1万口当りの費用の明細

項 目	第20期～第21期 (2022.5.17～2022.11.15)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	32円	0.284%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は11,432円です。
(投 信 会 社)	(30)	(0.265)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(1)	(0.005)	販売会社分は、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(2)	(0.014)	受託会社分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売 買 委 託 手 数 料	6	0.054	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(株 式)	(1)	(0.005)	
(投資信託証券)	(6)	(0.050)	
有 価 証 券 取 引 税	－	－	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	7	0.064	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(2)	(0.019)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監 査 費 用)	(0)	(0.003)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(そ の 他)	(5)	(0.042)	配当金の再投資に係る税金支払い、信託事務の処理等に関するその他の費用
合 計	46	0.402	

(注1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

(注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

■売買および取引の状況

親投資信託受益証券の設定、解約状況

(2022年5月17日から2022年11月15日まで)

決算期	第20期～第21期			
	設定		解約	
	□数	金額	□数	金額
	千口	千円	千口	千円
オーストラリア・リアルアセット・マザーファンド	305,333	534,458	134,864	238,848

(注) 単位未満は切捨て。

■株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

(2022年5月17日から2022年11月15日まで)

項目	第20期～第21期
	オーストラリア・リアルアセット・マザーファンド
(a) 期中の株式売買金額	43,992千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	381,615千円
(c) 売買高比率(a)÷(b)	0.11

(注1) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

(注2) 単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表

親投資信託残高

種類	第19期末	第21期末	
	□数	□数	評価額
	千口	千口	千円
オーストラリア・リアルアセット・マザーファンド	1,157,480	1,327,949	2,318,467

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2022年11月15日現在

項目	第21期末	比率
	評価額	
	千円	%
オーストラリア・リアルアセット・マザーファンド	2,318,467	98.6
コール・ローン等、その他	32,565	1.4
投資信託財産総額	2,351,033	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、11月15日における邦貨換算レートは、1オーストラリア・ドル=93.99円、1ニュージーランド・ドル=85.50円です。

(注3) オーストラリア・リアルアセット・マザーファンドにおいて、第21期末における外貨建純資産(2,290,353千円)の投資信託財産総額(2,355,475千円)に対する比率は、97.2%です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2022年8月15日)、(2022年11月15日)現在

項目	第20期末	第21期末
(A) 資産	2,307,988,808円	2,351,033,665円
コール・ローン等	63,930,617	32,565,946
オーストラリア・リアルアセット・マザーファンド(評価額)	2,244,058,191	2,318,467,719
(B) 負債	59,823,467	28,237,531
未払収益分配金	56,720,859	24,973,984
未払信託報酬	3,072,819	3,202,713
その他未払費用	29,789	60,834
(C) 純資産総額(A-B)	2,248,165,341	2,322,796,134
元本	1,890,695,314	2,081,165,407
次期繰越損益金	357,470,027	241,630,727
(D) 受益権総口数	1,890,695,314口	2,081,165,407口
1万円当り基準価額(C/D)	11,891円	11,161円

\* 当作成期首における元本額は1,775,438,401円、当作成期間(第20期～第21期)中における追加設定元本額は441,651,016円、同解約元本額は135,924,010円です。

\* 第21期末の計算口数当りの純資産額は11,161円です。

■損益の状況

第20期 自2022年5月17日 至2022年8月15日  
 第21期 自2022年8月16日 至2022年11月15日

項 目	第 20 期	第 21 期
(A) 配当等収益	△ 317円	△ 704円
受取利息	8	3
支払利息	△ 325	△ 707
(B) 有価証券売買損益	143,420,473	△111,135,920
売買益	146,507,613	1,998,220
売買損	△ 3,087,140	△113,134,140
(C) 信託報酬等	△ 3,102,608	△ 3,233,758
(D) 当期繰越損益金(A+B+C)	140,317,548	△114,370,382
(E) 前期繰越損益金	182,954,419	259,987,961
(F) 追加信託差損益金	90,918,919	120,987,132
(配当等相当額)	( 111,295,015)	( 157,208,740)
(売買損益相当額)	(△ 20,376,096)	(△ 36,221,608)
(G) 合計(D+E+F)	414,190,886	266,604,711
(H) 収益分配金	△ 56,720,859	△ 24,973,984
次期繰越損益金(G+H)	357,470,027	241,630,727
追加信託差損益金	90,918,919	120,987,132
(配当等相当額)	( 111,295,015)	( 157,208,740)
(売買損益相当額)	(△ 20,376,096)	(△ 36,221,608)
分配準備積立金	266,551,108	259,768,430
繰越損益金	—	△139,124,835

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程（総額）」をご参照ください。

■収益分配金の計算過程（総額）

項 目	第 20 期	第 21 期
(a) 経費控除後の配当等収益	19,457,602円	24,754,453円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	81,961,319	0
(c) 収益調整金	111,295,015	157,208,740
(d) 分配準備積立金	221,853,046	259,987,961
(e) 当期分配対象額(a+b+c+d)	434,566,982	441,951,154
(f) 分配金	56,720,859	24,973,984
(g) 翌期繰越分配対象額(e-f)	377,846,123	416,977,170
(h) 受益権総口数	1,890,695,314口	2,081,165,407口

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ		
	第 20 期	第 21 期
1万口当り分配金（税込み）	300円	120円

## &lt;補足情報&gt;

当ファンド（オーストラリア・リアルアセット・ファンド（適格機関投資家専用））が投資対象としている「オーストラリア・リアルアセット・マザーファンド」の決算日（2022年8月3日）と、当ファンドの決算日が異なっておりますので、当ファンドの第21期の決算日（2022年11月15日）現在におけるオーストラリア・リアルアセット・マザーファンドの組入資産の内容等を掲載いたしました。

## ■オーストラリア・リアルアセット・マザーファンドの主要な売買銘柄

## (1) 株 式

(2022年5月17日から2022年11月15日まで)

買				売					
銘	柄	株数	金額	平均単価	銘	柄	株数	金額	平均単価
		千株	千円	円			千株	千円	円
AGL ENERGY LTD (オーストラリア)		26	20,951	805	ATLAS ARTERIA (オーストラリア)		37	23,040	622

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 金額の単位未満は切捨て。

## (2) 投資信託証券

(2022年5月17日から2022年11月15日まで)

買				売					
銘	柄	口数	金額	平均単価	銘	柄	口数	金額	平均単価
		千口	千円	円			千口	千円	円
APA GROUP (オーストラリア)		50	53,698	1,073	NATIONAL STORAGE REIT (オーストラリア)		100	23,457	234
GOODMAN GROUP (オーストラリア)		29	49,523	1,707	ARENA REIT (オーストラリア)		50	22,133	442
ARENA REIT (オーストラリア)		116	42,934	370	MIRVAC GROUP (オーストラリア)		100	19,800	198
CHARTER HALL GROUP (オーストラリア)		29	35,929	1,238	CHARTER HALL SOCIAL INFRASTR (オーストラリア)		30	10,865	362
HOME CO DAILY NEEDS REIT (オーストラリア)		255	31,275	122	HOME CONSORTIUM LTD (オーストラリア)		18.373	9,463	515
GPT GROUP (オーストラリア)		60	22,319	371					
CENTURIA CAPITAL GROUP (オーストラリア)		125	21,965	175					
SCENTRE GROUP (オーストラリア)		82	20,630	251					
MIRVAC GROUP (オーストラリア)		90	18,849	209					
HEALTHCO HEALTHCARE & WELLNESS REI (オーストラリア)		100	14,496	144					

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 金額の単位未満は切捨て。

■組入資産明細表

下記は、2022年11月15日現在におけるオーストラリア・リアルアセット・マザーファンド（1,335,628千口）の内容です。

(1) 外国株式

銘柄	2022年11月15日現在			業種等
	株数	評価額	評価額	
		外貨建金額	邦貨換算金額	
(オーストラリア)	百株	千円		
AGL ENERGY LTD	710	546	51,384	公益事業
ATLAS ARTERIA	1,177.28	765	71,924	資本財・サービス
オーストラリア・ドル 通貨計	株数、金額 銘柄数<比率>	1,887.28 2銘柄	1,311 123,308 < 5.3%>	
(ニュージーランド)	百株	千円		
MERIDIAN ENERGY LTD	1,250	576	49,269	公益事業
MERCURY NZ LTD	290	156	13,364	公益事業
GENESIS ENERGY LTD	1,114.31	308	26,390	公益事業
MANAWA ENERGY LTD	116	58	4,959	公益事業
INFRATIL LTD	620	520	44,475	公益事業
CONTACT ENERGY LTD	1,460	1,073	91,750	公益事業
ニュージーランド・ドル 通貨計	株数、金額 銘柄数<比率>	4,850.31 6銘柄	2,692 230,209 < 9.9%>	
ファンド合計	株数、金額 銘柄数<比率>	6,737.59 8銘柄	- 353,517 <15.2%>	

(注1) 邦貨換算金額は、2022年11月15日現在の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。

(注2) < >内は純資産総額に対する評価額の比率。

(注3) 評価額の単位未満は切捨て。

(2) 外国投資信託証券

銘柄	2022年11月15日現在		
	口数	評価額	評価額
		外貨建金額	邦貨換算金額
(オーストラリア)	千口	千円	千円
DEXUS/AU	107	836	78,645
HEALTHCO HEALTHCARE & WELLNESS REI	100	143	13,440
CHARTER HALL SOCIAL INFRASTR	103.892	351	33,005
CROMWELL PROPERTY GROUP	143.076	103	9,749
CENTURIA INDUSTRIAL REIT	30.517	93	8,805
RURAL FUNDS GROUP	164.474	409	38,492
WAYPOINT REIT	29.831	81	7,626
CHARTER HALL LONG WALE REIT	101.882	439	41,272
CENTURIA OFFICE REIT	67.679	108	10,209
CENTURIA CAPITAL GROUP	319.719	565	53,189
HOMEKO DAILY NEEDS REIT	610.289	781	73,422
TRANSURBAN GROUP	137.413	1,857	174,616
APA GROUP	156.847	1,706	160,393
SHOPPING CENTRES AUSTRALASIA	220.11	585	55,030
GROWTHPOINT PROPERTIES AUSTR	32.919	108	10,241
NATIONAL STORAGE REIT	209.123	516	48,549
DEXUS INDUSTRIA REIT STAPLED UNIT	37.348	107	10,144
SCENTRE GROUP	499	1,427	134,136
ARENA REIT	293.217	1,155	108,584
HOTEL PROPERTY INVESTMENTS	150.542	474	44,570
GPT GROUP	235.7	1,032	97,032
CHARTER HALL RETAIL REIT	32.557	130	12,270
MIRVAC GROUP	445	952	89,506
STOCKLAND	282.055	1,037	97,558
ABACUS PROPERTY GROUP	150	405	38,065
GOODMAN GROUP	124.3	2,258	212,279
VICINITY CENTRES	283	551	51,868
CHARTER HALL GROUP	136	1,842	173,204
INGENIA COMMUNITIES GROUP	40.658	169	15,897
オーストラリア・ドル 通貨計	口数、金額 銘柄数<比率>	5,244.148 29銘柄	20,234 1,901,809 <81.6%>
(ニュージーランド)	千口	千円	千円
KIWI PROPERTY GROUP LTD	58.972	52	4,487
GOODMAN PROPERTY TRUST	21	43	3,698
ニュージーランド・ドル 通貨計	口数、金額 銘柄数<比率>	79.972 2銘柄	95 8,186 < 0.4%>
合計	口数、金額 銘柄数<比率>	5,324.12 31銘柄	- 1,909,995 <81.9%>

(注1) 邦貨換算金額は、2022年11月15日現在の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。

(注2) < >内は純資産総額に対する評価額の比率。

(注3) 評価額の単位未満は切捨て。

# オーストラリア・リアルアセット・マザーファンド

## 運用報告書 第12期（決算日 2022年8月3日）

（作成対象期間 2022年2月4日～2022年8月3日）

オーストラリア・リアルアセット・マザーファンドの運用状況をご報告申し上げます。

### ★当ファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	信託財産の成長をめざして運用を行ないます。
主要投資対象	イ. オーストラリアおよびニュージーランドの金融商品取引所上場または店頭登録の投資信託証券 ロ. オーストラリアおよびニュージーランドの金融商品取引所上場（上場予定を含みます。）または店頭登録（登録予定を含みます。）の株式（DR（預託証券）を含みます。） ハ. オーストラリアおよびニュージーランドの企業のDR
株式組入制限	無制限

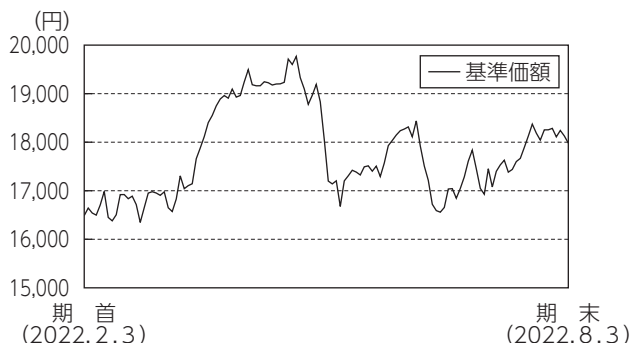
## 大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社  
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号  
<https://www.daiwa-am.co.jp/>



■当作成期中の基準価額と市況等の推移



年 月 日	基準価額		S & P / A S X 200指数 (配当込み、円換算)		S & P オーストラリア R E I T 指数 (配当込み、円換算)		株組入比率	株先物比率	投資信託 組入比率	証券 比率
	円	%	(参考指数)	%	(参考指数)	%				
(期首)2022年2月3日	16,489	-	16,967	-	15,285	-	16.0	-	-	82.7
2月末	16,652	1.0	17,219	1.5	15,428	0.9	15.4	-	-	81.1
3月末	19,094	15.8	20,620	21.5	17,668	15.6	15.9	-	-	80.7
4月末	18,967	15.0	19,863	17.1	17,421	14.0	16.1	-	-	81.1
5月末	17,929	8.7	20,070	18.3	16,176	5.8	16.5	-	-	80.3
6月末	17,453	5.8	18,878	11.3	15,155	△ 0.9	17.8	-	-	79.1
7月末	18,110	9.8	19,475	14.8	16,122	5.5	17.8	-	-	80.9
(期末)2022年8月3日	17,981	9.0	19,347	14.0	15,950	4.3	18.0	-	-	80.5

(注1) 騰落率は期首比。

(注2) S & P / A S X 200指数 (配当込み、円換算) は、S & P / A S X 200指数 (配当込み、オーストラリア・ドルベース) をもとに円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和アセットマネジメントが計算したものです。S & P / A S X 200指数 (配当込み、オーストラリア・ドルベース) の所有権およびその他一切の権利は、S & P Dow Jones Indices LLCが有しています。S & P Dow Jones Indices LLCは、同指数の算出にかかる誤謬等に関し、いかなる者に対しても責任を負うものではありません。

(注3) S & P オーストラリア R E I T 指数 (配当込み、円換算) は、S & P オーストラリア R E I T 指数 (配当込み、オーストラリア・ドルベース) をもとに円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和アセットマネジメントが計算したものです。S & P オーストラリア R E I T 指数 (配当込み、オーストラリア・ドルベース) の所有権およびその他一切の権利は、S & P Dow Jones Indices LLCが有しています。S & P Dow Jones Indices LLCは、同指数の算出にかかる誤謬等に関し、いかなる者に対しても責任を負うものではありません。

(注4) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注5) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。

(注6) 株式先物比率は買建比率-売建比率です。

《運用経過》

◆基準価額等の推移について

【基準価額・騰落率】

期首：16,489円 期末：17,981円 騰落率：9.0%

【基準価額の主な変動要因】

金利上昇などを背景に、当ファンドの主要投資対象であるオーストラリアのリートやインフラ (社会基盤) 関連銘柄が下落したことが基準価額にマイナスに働きましたが、為替相場において、オーストラリア・ドルが対円で上昇 (円安) したことがプラスに働き、基準価額は上昇しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

◆投資環境について

○オーストラリア・リアルアセット (※) 市況

オーストラリアのリートやインフラ (社会基盤) 関連銘柄は下落しました。

当作成期首から2022年4月にかけてのオーストラリア・リアルアセット市況は、世界的な投資家心理の改善や堅調な業績動向への

期待感などから、緩やかな上昇傾向となりました。5月から6月半ばにかけては、金利上昇や中央銀行の金融引き締め姿勢などから、下落しました。6月半ばから当作成期末にかけては、景気先行きへの懸念やコモディティ価格の下落を背景とした長期金利の低下などを受け、上昇傾向となりました。

※リアルアセットはリート、上場インフラファンド、株式を含みます。

○為替相場

オーストラリア・ドルは対円で上昇しました。

当作成期首から2022年4月半ばにかけての為替相場は、米国の金利上昇を受けて日米金利差に注目が集まり、円は主要通貨に対して下落 (円高) したため、オーストラリア・ドルは対円で上昇しました。4月半ばから5月末にかけては、景気に対する先行き懸念などから、オーストラリア・ドルは対円で下落傾向となりました。5月末から6月上旬にかけては、日米金利差に再度注目が集まり、円は主要通貨に対して下落し、オーストラリア・ドルは対円で上昇し

ました。当作成期末にかけては、オーストラリア・ドルは対円でおおむね横ばいでの推移となりました。

#### ◆前作成期末における「今後の運用方針」

当ファンドでは、高速道路・空港などのインフラ（社会基盤）関連施設や、オフィス・ショッピングモールなどの不動産を保有し、安定的なキャッシュフローを生み出すことができる企業に注目しています。また、長期的な配当成長の源泉となる、高い開発・運営能力や強固な事業基盤を持つ企業に着目します。

#### ◆ポートフォリオについて

オーストラリアの主要都市に優れた高速道路ネットワークを持ち、継続的な事業成長が期待できる高速道路運営会社 TRANSURBAN GROUP（資本財・サービス）、ガス産出地と主要都市を結ぶガスパイプラインなどを運営する APA GROUP（公益事業）、オーストラリアだけでなく世界中で物流施設を開発・運営する GOODMAN GROUP（不動産）、傘下に上場リートや非上場の不動産ファンドを持つ大手複合リートの CHARTER HALL GROUP（不動産）などを高位に組み入れました。

#### ◆ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

当作成期の当ファンドの基準価額と参考指数の騰落率は、「当作成期中の基準価額と市況等の推移」をご参照ください。

#### 《今後の運用方針》

当ファンドでは、高速道路・空港などのインフラ（社会基盤）関連施設や、オフィス・ショッピングモールなどの不動産を保有し、安定的なキャッシュフローを生み出すことができる企業に注目しています。また、長期的な配当成長の源泉となる、高い開発・運営能力や強固な事業基盤を持つ企業に着目します。

#### ■1万口当りの費用の明細

項目	当期
売買委託手数料 (株式) (投資信託証券)	8円 (1) (7)
有価証券取引税	—
その他費用 (保管費用) (その他)	9 (4) (5)
合計	17

(注1) 費用の項目および算出法については前掲しております項目の概要をご参照ください。

(注2) 項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

#### ■売買および取引の状況

##### (1) 株 式

(2022年2月4日から2022年8月3日まで)

		買 付		売 付	
		株 数	金 額	株 数	金 額
外 国	オーストラリア	百株 710 (△799.65)	千オーストラリア・ドル 576 (△207)	百株 —	千オーストラリア・ドル —

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) ( )内は株式分割、合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

(注3) 金額の単位未満は切捨て。

##### (2) 投資信託証券

(2022年2月4日から2022年8月3日まで)

		買 付		売 付	
		口 数	金 額	口 数	金 額
外 国	オーストラリア	千口 934 (106.226)	千オーストラリア・ドル 2,417 (△161)	千口 303.373 (—)	千オーストラリア・ドル 1,244 (—)

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 買付( )内は分割割当、合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

(注3) 売付( )内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。

(注4) 金額の単位未満は切捨て。

# オーストラリア・リアルアセット・マザーファンド

## ■主要な売買銘柄

### (1) 株式

(2022年2月4日から2022年8月3日まで)

当				期				
買		付		売		付		
銘柄	株数	金額	平均単価	銘柄	株数	金額	平均単価	
AGL ENERGY LTD (オーストラリア)	千株 71	千円 53,456	円 752		千株	千円	円	

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 金額の単位未満は切捨て。

### (2) 投資信託証券

(2022年2月4日から2022年8月3日まで)

当				期				
買		付		売		付		
銘柄	口数	金額	平均単価	銘柄	口数	金額	平均単価	
APA GROUP (オーストラリア)	千口 50	千円 53,698	円 1,073	MIRVAC GROUP (オーストラリア)	千口 130	千円 26,243	円 201	
HOME CO DAILY NEEDS REIT (オーストラリア)	415	52,682	126	ARENA REIT (オーストラリア)	40	16,788	419	
SCENTRE GROUP (オーストラリア)	161	43,053	267	TRANSURBAN GROUP (オーストラリア)	11	13,949	1,268	
MIRVAC GROUP (オーストラリア)	50	11,512	230	RURAL FUNDS GROUP (オーストラリア)	50	13,239	264	
ARENA REIT (オーストラリア)	30	11,431	381	INGENIA COMMUNITIES GROUP (オーストラリア)	35	12,442	355	
STOCKLAND (オーストラリア)	30	10,842	361	CHARTER HALL GROUP (オーストラリア)	7	10,088	1,441	
NATIONAL STORAGE REIT (オーストラリア)	50	10,413	208	APA GROUP (オーストラリア)	12	10,034	836	
VICINITY CENTRES (オーストラリア)	60	10,370	172	HOME CONSORTIUM LTD (オーストラリア)	18.373	9,463	515	
CENTURIA CAPITAL GROUP (オーストラリア)	55	10,132	184					
HOTEL PROPERTY INVESTMENTS (オーストラリア)	33	9,780	296					

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 金額の単位未満は切捨て。

■組入資産明細表

(1) 外国株式

銘柄	期首		期末		業種等
	株数	株数	評価額		
			外貨建金額	邦貨換算金額	
(オーストラリア)	百株	百株	千円	千円	
AUSNET SERVICES	799.65	-	-	-	公益事業
AGL ENERGY LTD	-	710	609	56,189	公益事業
ATLAS ARTERIA	1,547.28	1,547.28	1,202	110,762	資本財・サービス
オーストラリア・ドル 通貨計	株数、金額 銘柄数<比率>	2,346.93 2銘柄	2,257.28 2銘柄	1,812 166,951 <7.4%>	
(ニュージーランド)	百株	百株	千円	千円	
MERIDIAN ENERGY LTD	1,250	1,250	631	52,469	公益事業
MERCURY NZ LTD	290	290	179	14,920	公益事業
GENESIS ENERGY LTD	1,114.31	1,114.31	318	26,489	公益事業
MANAWA ENERGY LTD	116	116	70	5,891	公益事業
INFRATIL LTD	620	620	542	45,092	公益事業
CONTACT ENERGY LTD	1,460	1,460	1,100	91,501	公益事業
ニュージーランド・ドル 通貨計	株数、金額 銘柄数<比率>	4,850.31 6銘柄	4,850.31 6銘柄	2,843 236,365 <10.5%>	
ファンド合計	株数、金額 銘柄数<比率>	7,197.24 8銘柄	7,107.59 8銘柄	- 403,316 <18.0%>	

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。

(注2) < >内は純資産総額に対する評価額の比率。

(注3) 評価額の単位未満は切捨て。

(2) 外国投資信託証券

銘柄	期首		期末	
	口数	口数	評価額	
			外貨建金額	邦貨換算金額
(オーストラリア)	千口	千口	千円	千円
DEXUS/AU	107	107	1,000	92,171
HOME CONSORTIUM LTD	15	-	-	-
CHARTER HALL SOCIAL INFRASTR	131.032	132.476	498	45,890
CROMWELL PROPERTY GROUP	143.076	143.076	118	10,940
CENTURIA INDUSTRIAL REIT	30.517	30.517	91	8,406
AVENTUS GROUP	88.768	-	-	-
RURAL FUNDS GROUP	159.681	112.545	301	27,788
WAYPOINT REIT	29.831	29.831	76	7,035
CHARTER HALL LONG WALE REIT	98.906	101.882	452	41,675
CENTURIA OFFICE REIT	66.445	67.679	115	10,599
CENTURIA CAPITAL GROUP	186	244.218	478	44,099
HOMECO DAILY NEEDS REIT	-	610.289	829	76,467
TRANSURBAN GROUP	148.413	137.413	2,021	186,226
SYDNEY AIRPORT	29	-	-	-
APA GROUP	118.847	156.847	1,890	174,126
SHOPPING CENTRES AUSTRALASIA	213.996	213.996	629	57,963
GROWTHPOINT PROPERTIES AUSTR	32.919	32.919	122	11,251
NATIONAL STORAGE REIT	247.656	302.381	737	67,974
DEXUS INDUSTRIA REIT STAPLED UNIT	37.348	37.348	108	9,978
SCENTRE GROUP	338	499	1,437	132,401
ARENA REIT	232.738	226.754	1,072	98,813

銘柄	期首		期末	
	口数	口数	評価額	
			外貨建金額	邦貨換算金額
	千口	千口	千円	千円
HOTEL PROPERTY INVESTMENTS	109.694	145.88	479	44,217
GPT GROUP	175.7	175.7	766	70,576
CHARTER HALL RETAIL REIT	31.657	32.557	132	12,207
MIRVAC GROUP	435	355	745	68,682
STOCKLAND	252.055	282.055	1,077	99,265
ABACUS PROPERTY GROUP	150	150	433	39,938
GOODMAN GROUP	95.3	95.3	1,946	179,375
VICINITY CENTRES	153	213	443	40,817
CHARTER HALL GROUP	114	107	1,313	121,055
INGENIA COMMUNITIES GROUP	74.889	40.658	193	17,792
オーストラリア・ドル 通貨計	口数、金額 銘柄数<比率>	4,046.468 30銘柄	4,783.321 28銘柄	19,513 1,797,741 <80.1%>
(ニュージーランド)	千口	千口	千円	千円
KIWI PROPERTY GROUP LTD	58.972	58.972	60	4,999
GOODMAN PROPERTY TRUST	21	21	46	3,840
ニュージーランド・ドル 通貨計	口数、金額 銘柄数<比率>	79.972 2銘柄	79.972 2銘柄	106 8,839 <0.4%>
合計	口数、金額 銘柄数<比率>	4,126.44 32銘柄	4,863.293 30銘柄	- 1,806,580 <80.5%>

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。

(注2) < >内は純資産総額に対する評価額の比率。

(注3) 評価額の単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2022年8月3日現在

項目	当期末	
	評価額	比率
株式	千円 403,316	% 18.0
投資信託証券	1,806,580	80.5
コール・ローン等、その他	33,797	1.5
投資信託財産総額	2,243,695	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、8月3日における邦貨換算レートは、1オーストラリア・ドル=92.13円、1ニュージーランド・ドル=83.12円です。

(注3) 当期末における外貨建純資産(2,237,254千円)の投資信託財産総額(2,243,695千円)に対する比率は、99.7%です。

## ■資産、負債、元本および基準価額の状況

2022年8月3日現在

項 目	当 期 末
<b>(A) 資産</b>	<b>2,243,695,189円</b>
コール・ローン等	17,442,522
株式(評価額)	403,316,959
投資信託証券(評価額)	1,806,580,977
未収配当金	16,354,731
<b>(B) 負債</b>	<b>-</b>
<b>(C) 純資産総額(A - B)</b>	<b>2,243,695,189</b>
元本	1,247,781,480
次期繰越損益金	995,913,709
<b>(D) 受益権総口数</b>	<b>1,247,781,480口</b>
<b>1万口当り基準価額(C / D)</b>	<b>17,981円</b>

\* 期首における元本額は1,193,815,867円、当作成期間中における追加設定元本額は251,172,478円、同解約元本額は197,206,865円です。

\* 当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額：  
オーストラリア・リアルアセット・ファンド(適格機関投資家専用) 1,235,467,698円  
オーストラリア・リアルアセット・ファンド 12,313,782円

\* 当期末の計算口数当りの純資産額は17,981円です。

## ■損益の状況

当期 自2022年2月4日 至2022年8月3日

項 目	当 期
<b>(A) 配当等収益</b>	<b>41,300,000円</b>
受取配当金	41,299,219
受取利息	3,183
支払利息	△ 2,402
<b>(B) 有価証券売買損益</b>	<b>135,077,053</b>
売買益	328,032,046
売買損	△192,954,993
<b>(C) その他費用</b>	<b>△ 1,139,719</b>
<b>(D) 当期損益金(A + B + C)</b>	<b>175,237,334</b>
<b>(E) 前期繰越損益金</b>	<b>774,636,396</b>
<b>(F) 解約差損益金</b>	<b>△146,996,064</b>
<b>(G) 追加信託差損益金</b>	<b>193,036,043</b>
<b>(H) 合計(D + E + F + G)</b>	<b>995,913,709</b>
<b>次期繰越損益金(H)</b>	<b>995,913,709</b>

(注1) 解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

# ダイワ・マネー ポートフォリオ (FOFs用) (適格機関投資家専用)

## 運用報告書 (全体版) 第6期

(決算日 2022年12月9日)

(作成対象期間 2021年12月10日~2022年12月9日)

### 受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、円建ての債券を中心に投資し、安定した収益の確保をめざしております。当作成期につきましてもそれに沿った運用を行ないました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

### ★当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／国内／債券	
信託期間	無期限 (設定日：2017年9月19日)	
運用方針	安定した収益の確保をめざして安定運用を行ないます。	
主要投資対象	ベビーファンド	イ、ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンドの受益証券 ロ、円建ての債券
	ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンド	円建ての債券
組入制限	ベビーファンドのマザーファンド組入上限比率	無制限
	マザーファンドの株式組入上限比率	純資産総額の10%以下
分配方針	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益(評価益を含みます。)等とし、原則として、配当等収益等を中心に分配します。ただし、配当等収益等の額が少額の場合には、分配を行わないことがあります。	

## 大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社  
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号  
お問い合わせ先 (コールセンター)  
TEL 0120-106212  
(営業日の9:00~17:00)  
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

## 最近5期の運用実績

決算期	基準価額			公社債 組入比率	債券先物 比率	純資産 総額
	(分配落)	税 分 込 配 金	期 騰 落 中 率			
2期末 (2018年12月10日)	円 9,963	円 0	% △0.3	% -	% -	百万円 1
3期末 (2019年12月9日)	9,952	0	△0.1	-	-	1
4期末 (2020年12月9日)	9,943	0	△0.1	-	-	1
5期末 (2021年12月9日)	9,937	0	△0.1	-	-	1
6期末 (2022年12月9日)	9,930	0	△0.1	-	-	1

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) 公社債および債券先物の組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

(注3) 公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）を除きます。

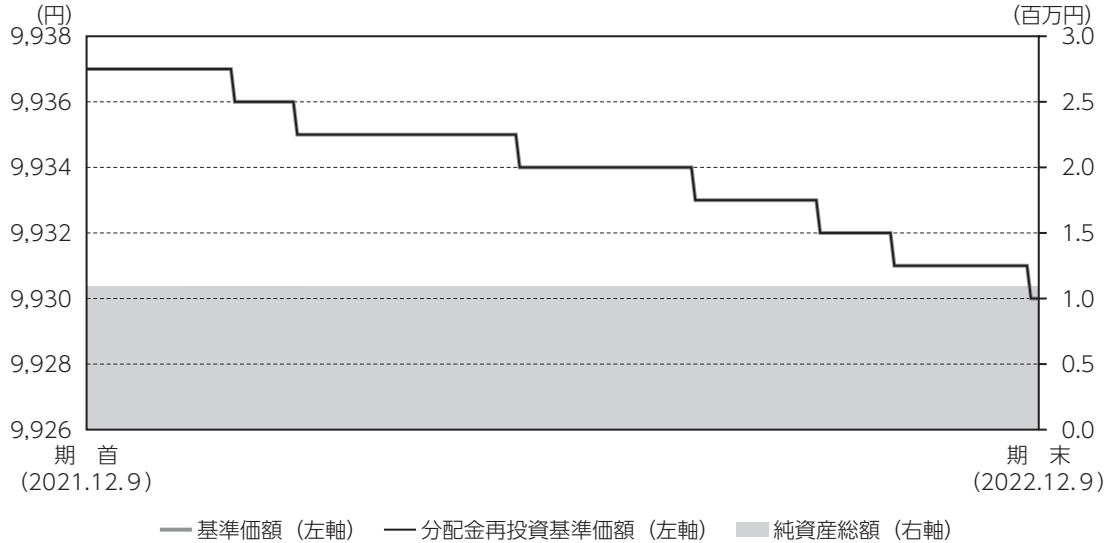
(注4) 債券先物比率は買建比率－売建比率です。

(注5) 当ファンドは、安定した収益の確保をめざして安定運用を行っており、ベンチマークおよび参考指数はありません。



## 運用経過

### 基準価額等の推移について



(注) 分配金再投資基準価額は、当学期首の基準価額をもとに指数化したものです。

\* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものではありません。

#### ■ 基準価額・騰落率

期首：9,937円

期末：9,930円（分配金0円）

騰落率：△0.1%（分配金込み）

#### ■ 基準価額の主な変動要因

「ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンド」の受益証券を通じて投資したコール・ローン等の利回りがマイナス圏で推移したことなどから、基準価額は下落しました。



ダイワ・マネーポートフォリオ (FOFs用) (適格機関投資家専用)

年 月 日	基 準 価 額		公 社 債 率	債 券 先 物 率
	騰 落 率	率		
(期首) 2021年12月9日	円 9,937	% -	% -	% -
12月末	9,937	0.0	-	-
2022年 1 月末	9,937	0.0	-	-
2 月末	9,936	△0.0	-	-
3 月末	9,935	△0.0	-	-
4 月末	9,935	△0.0	-	-
5 月末	9,934	△0.0	-	-
6 月末	9,934	△0.0	-	-
7 月末	9,934	△0.0	-	-
8 月末	9,933	△0.0	-	-
9 月末	9,932	△0.1	-	-
10月末	9,931	△0.1	-	-
11月末	9,931	△0.1	-	-
(期末) 2022年12月9日	9,930	△0.1	-	-

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

## 投資環境について

(2021.12.10～2022.12.9)

### ■国内短期金融市況

当作成期を通じて、日銀は長短金利操作付き量的・質的金融緩和を維持しました。この金融政策を背景に、国庫短期証券（3カ月物）の利回りおよび無担保コール翌日物金利はマイナス圏で推移しました。

## 前作成期末における「今後の運用方針」

### ■当ファンド

「ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンド」の受益証券へ投資を行います。

### ■ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

## ポートフォリオについて

(2021.12.10～2022.12.9)

### ■当ファンド

「ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンド」の受益証券へ投資を行いました。

### ■ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、コール・ローン等による運用を行いました。

## ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

## 分配金について

当作成期は、分配対象額が計上できなかったため、収益分配を見送らせていただきました。

### ■分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	当 期	
	2021年12月10日 ～2022年12月9日	
当期分配金（税込み）	（円）	—
対基準価額比率	（％）	—
当期の収益	（円）	—
当期の収益以外	（円）	—
翌期繰越分配対象額	（円）	—

（注1）「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

（注2）円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

（注3）当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。



## 今後の運用方針

### ■当ファンド

「ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンド」の受益証券へ投資を行います。

### ■ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

上記の運用方針により、マイナス利回りの短期の国債やコール・ローン等にも投資する場合があります。今後も現在の低金利環境が継続した場合は、ファンド全体の損益がマイナスとなり、基準価額が下落することが予想されます。投資家のみなさまにおかれましては、ご留意くださいますようお願い申し上げます。

## 1万口当りの費用の明細

項 目	当 期 (2021.12.10~2022.12.9)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	－円	－%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は9,934円です。
売 買 委 託 手 数 料	－	－	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有 価 証 券 取 引 税	－	－	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	3	0.033	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
( 監 査 費 用 )	(3)	(0.033)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	3	0.033	

(注1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

(注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

■売買および取引の状況

当作成期中における売買および取引はありません。

■利害関係人との取引状況等

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表  
親投資信託残高

種 類	期 首 当 期 末		
	口 数	口 数	評 価 額
ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンド	千口 1,089	千口 1,089	千円 1,091

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2022年12月9日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンド	千円 1,091	% 99.6
コール・ローン等、その他	4	0.4
投資信託財産総額	1,095	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2022年12月9日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	1,095,544円
コール・ローン等	4,053
ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンド(評価額)	1,091,491
(B) 負債	183
その他未払費用	183
(C) 純資産総額(A - B)	1,095,361
元本	1,103,110
次期繰越損益金	△ 7,749
(D) 受益権総口数	1,103,110口
1万円当り基準価額(C / D)	9,930円

\*期首における元本額は1,103,110円、当作成期間中における追加設定元本額は0円、同解約元本額は0円です。

\*当期末の計算口数当りの純資産額は9,930円です。

\*当期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は7,749円です。

■損益の状況

当期 自2021年12月10日 至2022年12月9日

項 目	当 期
(A) 有価証券売買損益	△ 436円
売買損	△ 436
(B) 信託報酬等	△ 365
(C) 当期損益金(A + B)	△ 801
(D) 前期繰越損益金	△3,838
(E) 追加信託差損益金 (売買損益相当額)	△3,110 (△3,110)
(F) 合計(C + D + E)	△7,749
次期繰越損益金(F)	△7,749
追加信託差損益金 (売買損益相当額)	△3,110 (△3,110)
繰越損益金	△4,639

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しておりません。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程(総額)」をご参照ください。

■収益分配金の計算過程(総額)

項 目	当 期
(a) 経費控除後の配当等収益	0円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0
(c) 収益調整金	0
(d) 分配準備積立金	0
(e) 当期分配対象額(a + b + c + d)	0
(f) 分配金	0
(g) 翌期繰越分配対象額(e - f)	0
(h) 受益権総口数	1,103,110口

# ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンド

## 運用報告書 第14期 (決算日 2022年12月9日)

(作成対象期間 2021年12月10日～2022年12月9日)

ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンドの運用状況をご報告申し上げます。

### ★当ファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	安定した収益の確保をめざして安定運用を行いません。
主要投資対象	円建ての債券
株式組入制限	純資産総額の10%以下

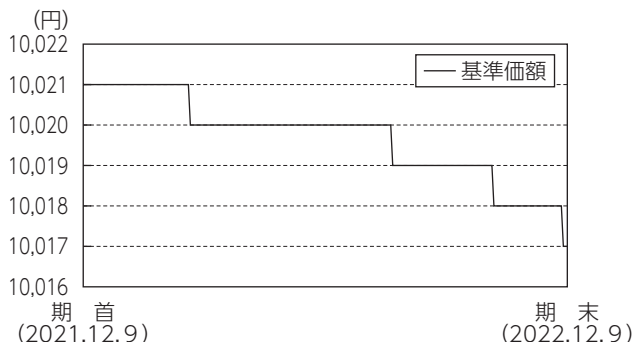
## 大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社  
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号  
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

# ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンド

## ■ 当作成期中の基準価額と市況等の推移



年 月 日	基準価額		公社債 組入比率
	円	騰落率 %	
(期首)2021年12月9日	10,021	-	-
12月末	10,021	0.0	-
2022年1月1日	10,021	0.0	-
2月末	10,021	0.0	-
3月末	10,020	△0.0	-
4月末	10,020	△0.0	-
5月末	10,020	△0.0	-
6月末	10,020	△0.0	-
7月末	10,020	△0.0	-
8月末	10,019	△0.0	-
9月末	10,019	△0.0	-
10月末	10,018	△0.0	-
11月末	10,018	△0.0	-
(期末)2022年12月9日	10,017	△0.0	-

(注1) 騰落率は期首比。

(注2) 公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。

(注3) 当ファンドは、安定した収益の確保をめざして安定運用を行っており、ベンチマークおよび参考指数はありません。

## 《運用経過》

### ◆ 基準価額等の推移について

#### 【基準価額・騰落率】

期首：10,021円 期末：10,017円 騰落率：△0.0%

#### 【基準価額の主な変動要因】

コール・ローン等の利回りがマイナス圏で推移したことなどから、基準価額は下落しました。

### ◆ 投資環境について

#### ○ 国内短期金融市場

当作成期を通じて、日銀は長短金利操作付き量的・質的金融緩和を維持しました。この金融政策を背景に、国庫短期証券（3カ月物）の利回りおよび無担保コール翌日物金利はマイナス圏で推移しました。

### ◆ 前作成期末における「今後の運用方針」

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

### ◆ ポートフォリオについて

流動性や資産の安全性に配慮し、コール・ローン等による運用を行いました。

### ◆ ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

## 《今後の運用方針》

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

## ■ 1万口当りの費用の明細

項目	当期
売買委託手数料	-円
有価証券取引税	-
その他費用	-
合計	-

(注1) 費用の項目および算出法については前掲しております項目の概要をご参照ください。

(注2) 項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

## ■ 売買および取引の状況

当作成期中における売買および取引はありません。

## ■ 主要な売買銘柄

当作成期中における主要な売買銘柄はありません。

## ■ 組入資産明細表

当作成期末における有価証券等の組み入れはありません。

## ■ 投資信託財産の構成

2022年12月9日現在

項目	当期末	
	評価額	比率
コール・ローン等、その他	千円 44,934,654	% 100.0
投資信託財産総額	44,934,654	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2022年12月9日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	44,934,654,863円
コール・ローン等	44,934,654,863
(B) 負債	1,205,058
未払解約金	1,205,058
(C) 純資産総額(A - B)	44,933,449,805
元本	44,855,160,815
次期繰越損益金	78,288,990
(D) 受益権総口数	44,855,160,815口
1万口当り基準価額(C/D)	10,017円

\* 期首における元本額は94,938,109,576円、当作成期間中における追加設定元本額は94,531,696,979円、同解約元本額は144,614,645,740円です。

\* 当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額:

ダイワ米ドル・ブルファンド (適格機関投資家専用)	3,974,859,681円
ダイワ米ドル・ベアファンド (適格機関投資家専用)	9,984,542,130円
ダイワ・マネーポートフォリオ (F O F s用) (適格機関投資家専用)	1,089,639円
ダイワJリートベア・ファンド (適格機関投資家専用)	2,083,616,103円
米国国債プラス日本株式ファンド2021-01 (部分為替ヘッジあり/適格機関投資家専用)	1,518,511円
米国国債プラス日本株式ファンド2021-07 (部分為替ヘッジあり/適格機関投資家専用)	9,980,330円
ダイワ/パリュウ・パートナーズ チャイナ・ヘルスケア・フォーカス	9,976円
通貨選択型 米国リート・αクワトロ (毎月分配型)	159,141円
通貨選択型アメリカン・エクイティ・αクワトロ (毎月分配型)	159,141円
オール・マーケット・インカム戦略 (資産成長重視コース)	9,963円
オール・マーケット・インカム戦略 (奇数月定額分配コース)	9,963円
オール・マーケット・インカム戦略 (奇数月定率分配コース)	9,963円
オール・マーケット・インカム戦略 (予想分配金提示型コース)	9,963円
NYダウ・トリプル・レバレッジ	1,486,750,161円
世界セレクトティブ株式オープン (為替ヘッジあり/年1回決算型)	998円
世界セレクトティブ株式オープン (為替ヘッジあり/年2回決算型)	998円
FANG+ブルベア・マネーポートフォリオ	992,420円
ポーレン米国グロース株式ファンド (資産成長型)	998円
ポーレン米国グロース株式ファンド (予想分配金提示型)	998円
トレント・キャッチ戦略ファンド	9,977円
AHLターゲットリスク・ライト戦略ファンド (適格機関投資家専用)	8,364,886,518円
ダイワJGBベア・ファンド2 (適格機関投資家専用)	18,942,942,107円
ダイワ/ロジャーズ国際コモディティTM・ファンド	2,417,017円
ダイワ/フィデリティ・アジア・ハイ・イールド債券ファンド (通貨選択型) 日本円・コース (毎月分配型)	998円
ダイワ/フィデリティ・アジア・ハイ・イールド債券ファンド (通貨選択型) ブラジル・リアル・コース (毎月分配型)	998円
ダイワ/フィデリティ・アジア・ハイ・イールド債券ファンド (通貨選択型) アジア通貨・コース (毎月分配型)	998円
ダイワ豪ドル建て高利回り証券α (毎月分配型)	9,949円
ダイワ米ドル建て7-10年ラダー型ファンド・マネーポートフォリオ - USトライアングル -	997,374円
ダイワ豪ドル建て高利回り証券ファンド - 予想分配金提示型 -	173,802円

\* 当期末の計算口数当りの純資産額は10,017円です。

■損益の状況

当期 自2021年12月10日 至2022年12月9日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	△ 16,492,067円
支払利息	△ 16,492,067
(B) 当期損益金(A)	△ 16,492,067
(C) 前期繰越損益金	201,304,649
(D) 解約差損益金	△293,300,613
(E) 追加信託差損益金	186,777,021
(F) 合計(B + C + D + E)	78,288,990
次期繰越損益金(F)	78,288,990

(注1) 解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。